

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組
使用教科書：（ 日本史探究『詳説日本史』 ）
教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	1 日本文化のあけぼの 【知識・技能】 ・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、先史・古代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 ・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	・文化の始まり ・農耕社会の成立	【知識・技能】 ・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、先史・古代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	2 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 ・国家の形成と古墳文化について、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解する力を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 ・仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとする態度を養う。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 定期考查	・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	2 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 ・国家の形成と古墳文化について、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解する力を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
				○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前期	律令国家の形成 【知識及び技能】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解する力を身に付ける。 ・平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解する力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文献史料や発掘資料を参考に、律令体制の整備、藤原氏の政治動向、当時の東アジア情勢、地方統治体制と土地制度の変容及び仏教文化の展開について多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響や奈良時代の政治動向などに着目して、律令体制の成立過程と展開を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・隋・唐などの中国王朝との関係の変化や導入された文化の考察を通して、政治や社会、文化とのつながりを主体的に追究しようとする態度を養う。 定期考査	・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容	【知識・技能】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 ・平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 【思考・判断・表現】 ・文献史料や発掘資料を参考に、小国の形成過程や仏教の受容、律令体制の整備、藤原氏の政治動向、当時の東アジア情勢、地方統治体制と土地制度の変容及び仏教文化の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響や奈良時代の政治動向などに着目して、律令体制の成立過程と展開を主体的に追究しようとしている。 ・隋・唐などの中国王朝との関係の変化や導入された文化の考察を通して、政治や社会、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
				○	○	○	1
後期	貴族政治の展開 【知識及び技能】 ・藤原北家が権力を掌握していく過程や大陸の文物の定着、地方の諸勢力の成長や影響に着目し、律令体制や摂関政治の変容、国風文化の形成や荘園の発達についてその特色を理解する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色や地方政治の変容、荘園の発達について考察し、根拠を示して表現する力を養う。 ・国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響や地方政治の変容の実態を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとする態度を養う。 ・平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとする態度を養う。	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	【知識及び技能】 ・藤原北家が権力を掌握していく過程や大陸の文物の定着、地方の諸勢力の成長や影響に着目し、律令体制や摂関政治の変容、国風文化の形成や荘園の発達についてその特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色や地方政治の変容、荘園の発達について考察し、根拠を示して表現している。 ・国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響や地方政治の変容の実態を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。 ・平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	8
	院政と武士の躍進 【知識及び技能】 ・貴族政治や土地制度の変容、平氏政権の台頭に関連する諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容や武士の政治進出について理解を理解する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、土地の支配や所有がもつ意味や古代から中世への時代の転換について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとする態度を養う。 定期考査	・院政の始まり ・院政と平氏政権	院政と武士の躍進 【知識及び技能】 ・貴族政治や土地制度の変容、平氏政権の台頭に関連する諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容や武士の政治進出について理解を理解する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、土地の支配や所有がもつ意味や古代から中世への時代の転換について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	○	○	○	7
				○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
後期	武家政権の成立 【知識及び技能】 ・諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立、承久の乱の影響などについて理解する力を養う。 ・宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色や、土地支配の変遷とその背景について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現する力を養う。 ・鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア諸国の情勢や交易の様子や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとする態度を養う。 ・宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響、鎌倉時代の宗教や文化にみられる特徴や平安時代との差異について、主体的に追究しようとする態度を養う。	・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴルの襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	武家政権の成立 【知識及び技能】 ・諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立、承久の乱の影響などについて理解している。 ・宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色や、土地支配の変遷とその背景について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 ・鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア諸国の情勢や交易の様子や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響、鎌倉時代の宗教や文化にみられる特徴や平安時代との差異について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	武家社会の成長 【知識及び技能】 ・鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、東アジアとの交流など着目して、室町時代における武家社会や領国支配の変容、多様な文化の形成や融合などについて、諸資料から情報を収集して理解する力を養う。 ・諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・南北朝の動乱から戦国大名が出現した時期の各地の政治・経済の変容や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 ・自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化、宗教や文化の共通点や差異などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとする態度を養う。 ・室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	武家社会の成長 【知識及び技能】 ・鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、東アジアとの交流など着目して、室町時代における武家社会や領国支配の変容、多様な文化の形成や融合などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 ・諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・南北朝の動乱から戦国大名が出現した時期の各地の政治・経済の変容や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化、宗教や文化の共通点や差異などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後 期	近世の幕開け 【知識及び技能】 ・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係、桃山文化の特徴と生活文化への影響について理解する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出が政治・経済・文化においてアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を各時代の比較を通じて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとする態度を養う。	・織豊政権 ・桃山文化	近世の幕開け 【知識及び技能】 ・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係、桃山文化の特徴と生活文化への影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出が政治・経済・文化においてアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を各時代の比較を通じて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
合計							78